

オーストリアの岩場

スイスと並んで観光大国であるオーストリア。国全体が山に覆われており、岩場も無数にある。特にアルパイン系のエリアは数多くあり、山岳スポーツの歴史は長い。

近年は数多くのワールドカップ選手を輩出、一方クレムロスコットやフーバー兄弟などユニークなクライマーも生み出している国である。ドイツ、イタリアにも近く、どちらの国からもクライマーが出入りして来る環境でもある。

ただしスポーツクライミングのエリアはスペインやフランスのような派手さはない。基本的には石灰岩のエリアが中心であるが、コルネの発達が乏しく、被ったエリアが少なく、垂直から薄ら被りの岩場が多くテクニカルで、グレートモドイツやイタリア北部の流れを汲み辛めである。

このあたりが避けられてか、日本ではオーストリアの岩場の情報が少ないのが現状である。

オーストリアの岩場は、激しくグレートを目指し求めるよりも、素晴らしい環境の中で、少しスローペースで登るのに適している。草原のアプローチ、アルプスの眺めという大自然の中でのクライミングは、他の国とは一味違う良さがある。緯度、標高ともに夏に適したエリアもたくさんある。ボルダーエリアの開拓も進んでいるので今後が楽しみな国である。

生活

レストランなどの食事は期待しないほうが良い。イタリア、フランスに比べると桁違いにレベルが低い。(イモと肉しかない?)ただしヨーロッパの他の国と比較すると英語はかなり通じる。他国からの観光客にも慣れており、皆親切である。

オーストリアは物価が非常に高い。1週間もしないうちオーストリアから他の国へ移動するクライマーも少なくない。皆、岩場が良い、と言うか実は…。日本以上にお金がかかると思っていなほうが良い。

トボ

かなりたくさんのトボが発売されているが、どれもドイツ語表記のみで分かりにくい。

オーストリアのトボは、インスブルックにオーストリアのほとんどのトボが入る本屋がある。

Reisbuchhandtyng inn. Wolfgang Finger Wilkeim-Grell-Str 15 A-2020 Innsbruck +43(0)512 572430

場所は上の住所をインスブルックのツーリストインフォに持っていけば教えてくれる

宿泊

キャンプ場はそこら中にある。またゲストホフといふ民宿もどこにもあり、困ることはない。ただ値段はかなり高いので覚悟しておくこと

車

運転は他のヨーロッパ同様、車間距離を取らないでスピードもかなり出す。

高速道路はビグネットというチケットを事前に買って車の前に貼っておく。買わずに捕まると罰金が凄いらしい。オーストリア近くのドイツやイタリア、またオーストリア内でも高速のカソリンスタンドでビグネットと言えば買える。10日間で11ユーロ。